

## 【学校の沿革】

本校は、昭和 22 年 5 月に「千葉市立第七中学校」として開校して以来、78 年目を迎える千葉市で最も歴史ある学校の一つです。その歴史を学舎という視点から見ると、開校当時は、戦火を免れた工業学校跡の二棟を仮校舎として、本校の歴史がスタートしたことがわかります。昭和 30 年代に二度の火災を乗り越え、26 年間にわたり、初代校舎とともに築き上げてきた第 1 期。続いて昭和 48 年に鉄筋二階建ての校舎が落成し、以降 37 年間の長きにわたり本校の伝統をより深長させてきた第 2 期。そしてその歴史は、平成 22 年 9 月に完成した、現在の近代的校舎による第 3 期へと受け継がれています。その間、のべ 39 人の P T A 会長さんをはじめとする保護者や地域の方々の献身的な御協力、御支援に支えられ、27 人の学校長のもと、これまで勤務された多くの教職員の熱い想いにより、現在のような立派な校風と伝統を誇る花園中学校が築きあげられてきました。

また、昨年度は多年にわたる学校教育の充実に尽力したとして、本校が 2 度目の千葉県教育功労者表彰を受けることができました。

## 【学校長より】

本校の学校教育目標は「自ら学び 心豊かな 活力あふれる生徒の育成」です。これをもとに、花園中学校で学ぶ生徒の皆さんに、中学校生活で大切にしてほしいことを、「5 つの『あい』」という言葉にまとめました。

一つ目の「あい」は、「挨拶」です。「挨拶」は、気持ちを伝えあうコミュニケーションの第一歩。

「挨拶」を通して、学級、学年、学校全体へと、コミュニケーションの輪が広がっていくことを期待しています。→学校教育目標の土台となる部分です。

二つ目の「あい」は、「アイデア」です。「アイデア」は、「考え」という言葉に置き換えることができます。自ら学び、考え、表現することを通して、確かな学力が身に付いていくことを期待しています。→「自ら学び」につながります。

三つ目の「あい」は、「愛情」です。「愛情」とは、相手を思う温かな気持ちと言えます。相手を思いやり、互いを認め合い、協力し合い、高め合える、心豊かな人間関係づくりを期待しています。→「心豊かな」につながります。

四つ目の「あい」は、英語で「私」を意味する「I」です。「私」、つまり自分自身を大切にしてほしいと思っています。心と体の調子に気を配り、生き生きと活力あふれる学校生活を送ることを期待しています。→「活力あふれる」につながります。

五つ目の「あい」は、「〇〇あい」です。〇〇には「学び」「認め」「磨き」が入ります。

「学び合い（あい）」→「自ら学び」につながります。

「認め合い（あい）」→「心豊かな」につながります。

「磨き合い（あい）」→「活力あふれる」につながります。

花園中学校生徒によって発見されて 70 年以上の年月が経つ大賀ハスは、今や千葉市の都市アイデンティティ（重要な地域資源）の一つとなっています。毎年大輪の花を咲かせる大賀ハスのように、生徒の力を伸ばし成長させられるよう、花園中学校の教職員一同、力を尽くしていきたくて考えております。令和 6 年度は、歴史と伝統を大切にしながらも創意工夫し、未来を拓くことができる生徒の育成を目指した学校経営を行い、伝統ある花園中学校の歴史に、新たな 1 ページを刻んでいきたいと思っております。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様方には、本校教育活動に一層の御理解と御支援を賜りますようお願いいたします。

千葉市立花園中学校長 鎌野 繁